

鳥の劇場2019年度プログラム<創るプログラム>

中国の文豪・魯迅による短編小説の舞台化です。煮えたつ大なべの中で生首が歌い踊り、対決する奇っ怪なお話です。力強くも繊細な語り、キレのある動き、生演奏の太鼓の響き。ライブパフォーマンスのダイナミックな魅力を感じさせ、観る側の想像力をかき立てる鳥の劇場の代表作です。今秋、富山県で開催される演劇のオリンピック「シアター・オリンピックス」にも招聘されています。

チケット

大人：2,000円／18歳以下：500円／中学生以下無料

チケットのご予約は、電話、ウェブ、電子メールでお受けします。
料金はご来場時にお支払いください。

電話／0857-84-3268
ウェブ／www.birdtheatre.org
電子メール／ticket@birdtheatre.org

予約受付は
7月26日(金)
10時より

上演をもっと多くの方に楽しんでいただくために

- 送迎します**
JR浜村駅、JR鳥取駅と鳥の劇場の間の送迎を行います。
無料です。是非ご利用ください。
※利用人数の把握の都合上、必ず事前のご予約をお願いします。
- JR浜村駅⇄鳥の劇場
・8月23日(金)
【行き】JR浜村駅18:40発 【帰り】鳥の劇場20:50発
・8月24日(土)～8月27日(火)
【行き】JR浜村駅12:45発／13:35発 【帰り】鳥の劇場15:55発／16:25発
※列車の遅延等で遅れる可能性がある場合は、出発10分前までに劇場へご連絡ください。
※帰りのバスは当日劇場にてご予約ください。
- JR鳥取駅⇄鳥の劇場
(出発/到着場所:JR鳥取駅南口 フコク生命ビル前)
・8月23日(金)
【行き】JR鳥取駅18:00発 【帰り】鳥の劇場20:50発
・8月24日(土)～8月27日(火)
【行き】JR鳥取駅12:10発 【帰り】鳥の劇場16:25発

鳥取駅・浜村駅から劇場まで
無料で送迎します！

- 託児します**
小さいお子さまをお預かりします。
(無料。手配の都合上、必ず3日前までにご予約をお願いいたします。)
- 鳥のカフェがあります**
上演の前後にコーヒーや各種ソフトドリンクなどを販売いたします。
- バリアフリーをめざします**
障がいのある方にもご覧いただけるよう、適宜対応しております。
ご連絡をください。
- 字幕あります**
セリフが聞こえづらい方のために、
手に持てる小さい“字幕”をご用意いたしております。
- English Subtitles available**
セリフの英語訳を自動的に表示するipodをご用意しています。
Programmes are available with English subtitles which automatically appear on iPod screen.

主催:特定非営利活動法人鳥の劇場
後援:鳥取県 鳥取市 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会 NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 新日本海新聞社 株式会社ふるさと鹿野
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 公益財団法人ごうぎん鳥取文化振興財団

鳥の劇場へのアクセス

鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話：0857-84-3268

- JRを使って
劇場の最寄り駅はJR浜村駅です。
※公演日は鳥取駅と浜村駅、ふたつの駅から送迎を行います。詳しくは上記をご覧ください。
- 浜村駅まで・鳥取駅から、山陰本線、米子方面行きで30分
・倉吉駅から、山陰本線、鳥取方面行きで25分
・米子駅から、山陰本線、鳥取方面行きで1時間40分
- 浜村駅から・車で15分
- 車を使って
公演日は会場近くに案内看板を設置します。
・山陰道 鳥取西道路、浜村鹿野温泉IC・瑞穂宝木ICから約10分
・鳥取空港から約30分
・鳥取市中心部から約30分
・倉吉市中心部から約40分
・米子市中心部から約1時間20分



東京・大阪・神戸・京都・広島・福岡の各都市と鳥取の間で高速バスが運行しています。

- 東京 飛行機 約1時間15分(羽田空港-鳥取空港)
JR 約5時間30分(東京駅-鳥取駅)
- 京都 JR 約3時間(京都駅-鳥取駅)
車 約3時間(中国自動車道-鳥取自動車道-山陰道)
- 大阪 JR 約2時間30分(新大阪駅-鳥取駅)
車 約2時間30分(名神高速道路-中国自動車道-鳥取自動車道-山陰道)
- 岡山 JR 約2時間(岡山駅-鳥取駅)
車 約2時間45分(国道53号-鳥取自動車道-山陰道)

剣を鍛える話

原作／魯迅
翻訳／竹内好
構成・演出／中島諒人

2019年8月
23日(金)19時開演・
24日(土)～27日(火)14時開演
会場／鳥の劇場
(鳥取県鳥取市鹿野町 電話0857843268)

BIRD Theatre Company TOTTORI
Forging the Swords

Written by Lu Xun
Translated by TAKEUCHI Yoshimi
Conceived and Directed by NAKASHIMA Makoto

7PM on August 23rd, 2019
2PM on August 24th, 25th, 26th and 27th, 2019
Venue: BIRD Theatre
1812-1 Shikano, Shikano-cho, Tottori city,
Tottori prefecture, 689-0405

Tickets
19 years old and over, 2,000yen
16 to 18 years old, 500yen
*Junior high school pupils and under, free admission

Contact
E-mail: info@birdtheatre.org
Telephone: 0857-84-3268
Website: www.birdtheatre.org

English subtitles available

photo by 池本喜巳

大人から子どもまで楽しめる
不思議で奇想天外な舞台です

JR鳥取駅南口から
無料直通バス
を運行します。
金は18:00、
それ以外は12:10に出発

鳥の劇場2019年度活動テーマ:開かれた劇場。気づき、出会い、にぎわい、輝きの場として。

剣を鍛える話

原作／魯迅

翻訳／竹内好

構成・演出／中島諒人

出演

齊藤頼陽 中川玲奈 赤羽三郎

高橋等 中垣直久 安田茉耶

後藤詩織 大川潤子 増谷京子

山本 芳郎(劇団山の手事情社)

この作品は魯迅の短編小説「鑄劍」をそのまま台本として使っている。本テキストを取り上げたのは、いくつかの理由がある。一つは、この物語が、魯迅の個人的創作でなく、東アジアにおいて多くの人たちが親しんできた共有財と言えるものであること。原作は古代中国にまでさかのぼり、日本にも中国童話として伝わった。魯迅も日本留学の間に目にした。朝鮮半島にもきつと似たような話が伝わっているのだと思う。時代や国を超えた民衆の想像の産物を扱うことは、グローバル化の中で、均一化とナショナリズムという真逆のベクトルが同時進行する現代において格別な意味があるはずだ。

もう一つは政治的な課題。魯迅は、20世紀初期の中国における政治的変動の中で、社会変革に向けて個人の主体的な行動を願い、文学作品の中に様々に思いを込めた。本作も同様である。荒唐無稽な物語の中に、民衆の抵抗への期待、彼らへの鼓舞の気持ちに詰まっている。彼は同時に、しかしそれは結局無理だろうという絶望も描くのだが、本当に絶望しているのなら鼓舞などしない。絶望は、勇気ある行動への期待であり、成就が容易でないことも告げている。100年近く前から投げられたその付託に、現代の我々は応答しているか。彼からの問いは、癒えない傷のようにつき続ける。

本上演では、あらゆる場面が、俳優の身体だけで演じられる。演劇的な力強さにあふれている。それは、観る人に身体によるこびとして伝わるだろう。ネットやスマホの時代に、多くの人が忘れかけている人間的な愉しみである。

社会のあり方を根底から問う鋭い批判力と、体よるこび。両方は遠いものようだ。しかし、より良い生を願う人間的調和の中では、ともに不可欠のものだと言えないだろうか。

鳥の劇場芸術監督 中島諒人

2019年8月

23日(金)19時開演

24日(土)〜27日(火)14時開演



物語
残酷な王に父を殺された16歳の少年・眉間尺。謎の黒い男と父の形見の青剣に導かれ、復讐のため王と対決する。しかしそれは大鍋の中、生首同士の決闘という実に奇妙なしつらえにおいてだった。眉間尺は懸命に戦うが劣勢、そこに黒い男が自分の首を落として加勢、ついに復讐は遂げられるが…。



本作品は、国際的な舞台芸術作品の祭典である「第9回シアター・オリンピックス」に招聘され、富山県利賀芸術公園で上演します。

日時

2019年9月5日(木)・6日(金)20時開演

会場

富山県利賀芸術公園 岩舞台
(富山県南砺市利賀村百瀬48)

料金

2,000円

※詳細は公式サイトなどでご確認ください。
第9回シアター・オリンピックス公式サイト

www.theatre-oly.org